

## < 図書館だより >

### ～ Pulsus ～

#### 図書館は成長する有機体である

「図書館は成長する有機体」とは、図書館関係者にはよく知られたインドの図書館学者、ランガナタン博士が1928年に唱えた「図書館学の五法則」の五番目の法則です。90年も前に提唱された法則ですが、その語数は英語で26語と少なく、また、図書館の本質を示しているため現在でも図書館とは何かを考察する際によく参照される法則です。例を一つ挙げると、5年前にOCLC(123か国、約18,000の図書館が参加している非営利組織)の研究部門がこの法則の順番を変え、新解釈を与えた128頁に及ぶ研究報告書を発表しています。

さて、この「成長する有機体」とは、ランガナタン自身が次のように解説しています。「生物学においては、成長する生き物だけが生存し、成長を止めた生き物は硬直化し、死滅するといえます。(中略)突然変異を別にする、生き物はゆっくりと、しかし継続的な変化をし、新しい形に進化していきます。変化こそが生きることの不可欠な原則であり、図書館もまた同様のものです。」(竹内 哲 著『図書館の歩む道』)

成長と言っても、蔵書の増加に伴った建物の拡大を念頭に置いたものではなく、時代や環境に順応したサービスや機能の変化を説いたものです。今号の『ふみくら』でも紹介しているように、図書館にラーニング・コモンズを設け、電子資料も年々拡充方向で進めています。一昔前の図書館と言えば、静謐な空間と膨大な紙の学術書を所蔵する場所でしたが、ランガナタンの言葉が無ければ、この固定観念から脱することなく、そのままだったかもしれません。

本学図書館では、今年の9月から新たな図書館システムを慶應義塾大学メディアセンターと共有し運用する予定です。共有するのはシステムばかりではなく、両校で重複して所蔵する資料、例えば古い製本雑誌はどちらかで保存し共有していくことも考えられます。図書館は単体での成長のみではなく、他の図書館と資源を共有しながら成長していく可能性も持っているのです。

荘司 雅之(図書館事務部長)

#### ◆図書館日誌(2018年8月～12月)

- 8.3 夏季休業期間につき開館時間短縮(9/20まで)
- 8.4 オープンキャンパスに伴う中央図書館自由見学(8/5まで)
- 8.20 改修工事につき中央図書館臨時閉館(8/20, 8/21, 8/25, 8/26, 9/1, 9/2, 9/16, 9/23)
- 9.3 慶應義塾大学・立教大学実習生研修(計3名、9/14まで)
- 10.1 中央図書館2階リニューアル・オープン
- 10.1 Library Weekを開催(10/5まで)
- 10.1 企画展示「これが連歌だ!—伊地知鐵男文庫で学ぶ連歌の世界—」(10/31まで)
- 10.5 電子媒体検討委員会(第3回)
- 10.11 図書連携協議会(第3回)
- 11.7 学習支援連携委員会(第1回)
- 10.29 図書館情報検索ワークショップ2018秋学期を開催(11/16まで)
- 11.5 データベース講習会2018秋学期を開催(11/16まで)
- 11.9 早大図書館が行う就活支援 その①「データから見える企業のホンネ」を開催
- 11.30 戸山図書館企画展示『『どらくろ』の時代』(1/11まで)
- 12.14 ビッグディール契約のあり方に関する検討委員会(第1回)
- 12.14 早大図書館が行う就活支援 その②「就活に役立つ情活ワークショップ」を開催(12/14, 12/18)
- 12.18 図書連携協議会(第4回)
- 12.25 冬季休業期間につき開館時間短縮(1/5まで)

#### < 企画展示のご案内 >

##### 第二次『早稲田大学』を飾った挿画たち —本間久雄旧蔵資料から—

日時: 2019年3月22日(金)～4月25日(木) ※日曜閉室

会場: 総合学術情報センター2階展示室

主催: 早稲田大学図書館

内容: 近代文学研究の宝庫「本間久雄文庫」関連として近年寄贈された資料より、『早稲田文学』を彩った挿画の原画を展示します。本間旧蔵時の表装そのままに、掲載号原本と共にご覧ください。

※図書館入館資格のない方でもご覧頂けます。

#### 早稲田大学図書館報 ふみくら No.95

2019年3月15日発行 2,700部

発行人/深澤良彰

編集/本間 知佐子・高木 理久夫・伊藤 岳・落合 佑亮・池田 知美

発行/早稲田大学図書館

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 TEL 03-5286-1652

ISSN 0289-8926